

# URA連携による国際共同研究促進

8月30日（水） 9:20-10:50 大会場A（4階）

本セッションでは、日本と海外のURA連携による国際共同研究促進の課題と可能性について、日欧間のケースを中心に議論します。一部英語での講演も含まれますが、日本語によるサポート付ですのでお気軽にご参加ください。

2017年4月、マルタ島で開催されたEARMA (European Association of Research Management and Administration)年次大会において、大阪大学、京都大学、神戸大学、広島大学の有志URAが、アムステルダム大学の研究資金アドバイザーのOlga Gritsai氏（EARMA-Cultures and Diversity in RM & A ワーキンググループメンバー）と一緒に"Collaboration with Japan"という共同セッションを行いました。JSPSロンドン研究連絡センターとJSTパリ事務所のスタッフの同席もあり、各所管の国際関連資金プログラムに関する説明でご協力いただきました。おかげで、ヨーロッパの大学で研究マネジメントに関わりを持ち、かつ日本の大学との共同研究に関心を持つ方々が多数聴講されました。

RA協議会年次大会での本セッションのアイデアは、このEARMAでの共同セッションの経験およびその後の議論から発生したもので、三部構成となります。第一部は基調発表として、アムステルダム大学のGritsai氏に、①EARMAの紹介、②ヨーロッパにおけるURA同士の国際連携の現状、③アジア（特に日本）との共同研究に対するヨーロッパの期待、についてお話しいただきます。第二部では、上記の日本の有志URAにより、④EARMA年次大会での共同セッションおよび大会期間中のEARMA関係者との協議についての報告、⑤共同セッション参加者アンケート（日本との共同研究に関する興味や課題など）の分析、⑥有志URAがこのような共同セッションに参画した意図や今後の展開への期待など、について発表を行います。第三部は聴講される参加者を含めたディスカッションが中心となります。全体的な質疑応答から始まり、日欧間でのURA連携による国際共同研究促進の課題と可能性について議論を進めます。

## オーガナイザー／司会者



**三代川 典史**：広島大学 研究企画室 シニアURA

在東京オーストラリア大使館教育部勤務の後、修士号をロンドン大学（教育政策学）、及びシンガポール国立大学（公共政策）で獲得。米国のペンシルベニア州立大学でPh.D.（高等教育管理）を取得後、同大学国際事業本部において本部長付研究員として勤務。2014年より広島大学研究企画室に所属し、研究活動の国際化推進を担当。ライティング・センター、国際科学広報、国際会議開催支援等の運営を統括。2017年よりRA協議会の国際WG座長。

## 講演者


**Olga Gritsai** : アムステルダム大学 グラントサポートオフィス  
研究資金アドバイザー

欧州都市の変遷過程に着目した研究で社会地理学の博士号取得後、西欧および東欧の研究機関で国際研究プロジェクトのマネジメント経験を積む。アムステルダム大学が関わる欧州プロジェクトで研究とマネジメントを兼務した後、2010年から同大学で研究資金アドバイザーとなる。担当分野は社会科学、法学。【専門分野】欧州やオランダの競争的研究資金、研究マネジメントやアドミニストレーションにおける文化や多様性、欧州内外の共同研究。


**川人 よし恵** : 大阪大学 経営企画オフィス  
チーフ・リサーチ・アドミニストレーター

民間会社で港湾・土木行政の広報、まちづくり等に携わりながら、10年以上に渡りコミュニケーション企画・実践の経験を積む。2010年4月より、大阪大学21世紀懐徳堂特任研究員として、社会学連携事業の企画・運営を担当。2012年9月に大阪大学URAに着任して以降、広報・アウトリーチ活動や人社系URA活動に取り組んでいるほか、アムステルダム大学URA等との連携による国際共同研究促進を模索中。


**Kristian Bering** : 大阪大学 経営企画オフィス  
チーフ・リサーチ・アドミニストレーター

コペンハーゲン大学文学部日文学専攻（日本文学）修士（2001年）、SOASロンドン大学文学部（日本文学）博士課程満期退学（2015年）。日本留学：京都大学国語国文学科1992-96年・2004-6年、同志社大学国文学化（2002-4年）。立命館大学のアートリサーチセンターで出版文化財のデジタル化の関連勤務（2008年）を経て、2009年に畑を変え、大阪大学産学連携本部のコーディネーターとして勤務。2013年より現職、主に国際共同研究立ち上げ支援関連業務に携わる。


**富田 克彦** : 神戸大学 学術・産業イノベーション創造本部  
シニアURA・特命教授

社会実装デザイン部門 超スマートコミュニティ推進室長、シニアURA・特命教授、博士（創造都市）。松下電器産業（現パナソニック）でeコマース事業カンパニー社長、ネット家電プラットフォーム開発センター所長として松下の新規事業であるネットワークサービス事業を担当。総務省、経産省の情報家電セキュリティ研究会の座長、委員を歴任。JSTにてサイバー攻撃対策を担当後、神戸大学に赴任。現在、神戸市をはじめとしてスマートシティプロジェクトの全国展開を推進中。


**鈴木 環** : 京都大学 学術研究支援室（URA室）  
リサーチ・アドミニストレーター（国際連携）

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科（環境デザイン）修士課程修了、博士課程単位取得満期退学、パリ大学第一大学院留学。（独）国立文化財機構 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター・特別研究員（2008年～2013年）、国際協力機構（JICA）専門家（2014年）を歴任し、西・南アジア・欧州の文化遺産国際協力事業に携わる。2014年より現職、京都大学欧州拠点の運営に携わり、欧州との交流支援、海外ファンド獲得支援を中心に担当。


**磯部 靖博** : 広島大学 研究企画室 URA

広島大学工学部出身。約10年の大学職員での経験及び弁理士の取得を機に2012年11月からURA業務を始める。山口大学URA室では、研究力分析（論文分析）に従事。2014年4月から広島大学研究企画室（URA本部）において、大学改革関連、大型研究プロジェクト申請及び国際連携業務（EARMA等）に従事。専門は知的財産全般及び生化学。「つなぐこと」を意識し、URA（研究・国際）と弁理士（知財）の融合した研究支援専門職を目指す。